

第五回国際絹業大会に出席して

横浜生糸検査所 研究部長 大岡 忠三

1. 大会前奏

第五回国際絹業会議は五月九日から十三日までプラツセル市で開催された。前回に引き続きヨーロッパで開催されたので、戦後五回の内ただ一回がニューヨークで開かれただけである。絹の生産国でもなく又大消費国でもないベルギーで開催されたにもかかわらず代表を送つた国は二十二ヶ国、その数三百九十名の多きに達したことはまことに偉観であつて、筆者が会議の前後英、仏、伊、瑞西等であまり繊維に關係の深くない人達と話合つた時でも絹業会議の事は知つていてと言つた人がかなり多かつた。合成繊維、人絹、その他羊毛、木綿繊維等の天然繊維の生産、加工の盛んな歐洲にあつて尙且つこの盛會を見たことは如何に絹に關する心持が大きいかを如実に示すものと言えよう、開催国の絹業協會長ロバート、ヒルシュ氏が大会直前に急逝されたことは誠に哀惜の極みであつたが、同氏が最後まで活躍されて大會を盛大に導かれたその準備の周到さと又五日間の會議の運営を完全に果した各部會の議事ぶりは誠に尊敬すべきものである。ベルギー國がこの大會のために協力されたことは市公會堂のチャールス五世時代のページェント、ギャラリー、ルイズの絹に關する映画祭典、皇室博物館での絹に關する展示會等を以つてみてもよくわかることである。

2. 技術調査委員會と第三部會

筆者は技術調査委員會と第三部會とに出席したのであるが、その一部は兩部會が同時に開かれた為に出席出来ないことのあつたのは遺憾であつた。技術調査委員會は四日間に計五回の會合を持ち、又第三部會は三日間に計三回で他の部會に比較して極めて多くの會合を持つて、討議も又それだけ多く行われた訳である。十六の部會が僅々五日間にある程度の結論を出すことは容易なこととなく、その成果はなかなか期待も困難なものである。従つて會議前の準備こそ最も大切な訳である。而も今回は重要問題の一つとして、筆者に最も關係の深い生糸検査格付改正案が議題として取上げられていて、この會議の成果は日本の蚕糸業に極めて強く影響してくるものであるので、如何にしても持参の日本案を諒解して貰つてこれを通過させなければならない責任をもつていた。前にも述べたように技術調査委員會でも、四日間で合計十八時間しかないのに、このことは過去の絹業會議でよく承知されており、我が國でも昨年春より J, S, A を中心として約十回にわたり製糸、輸出、検査の各代表が協議を重ねて得た改正案を會議前數回に国際絹業協會を通じて各國委員と打合せを行い充分検討を行つていたので、本會議では改正案の概要を説明し、更に一部は資料の説明を行つただけで各國の委員は了解してくれた。従つて重要な点だけについて討議が行われそれ以外の点については、殆んど全面的改正であつたにもかかわらず、何等それらの点にはふれずに終了した次第である。さてそれらの内で二三の点について會議の雰囲気を書くことにしよう。

3. 織度偏差の問題

その第一は織度偏差の問題である。即ち今回改正の要点は生糸の編物方面への需要から織物分野への変化に対し糸条斑成續よりも織度偏差検査に重点を置くというものであつて、この点に關して日本案を資料によつて説明した。然し乍ら技術調査委員會では各委員はこの案を以てしても尙甘すぎる更にきびしいものでなければ、織物を対象とする限り意味がないと主張し特に英のギャダム氏、伊のギャレーゼ氏は強調した。筆者等は今回は偏差の限度を従来よりもきびしくした上に従来の平均偏差を標準偏差で表示すること、又その上織度最大偏差をも存置して

その限界もまた従来よりもきびしくした点を説明した。これについては会議前より消費者側から、最大偏差は現行の最太最細各四本の平均の差の大きな方をとることに對しこれを各二本にしてはという案も、更に極端にはエカルトを以て表わしてはとの意見もあつたが、検査の立場からは検査が種々の消費分野のことを考えなければならないことと又検査の信頼性、反復性と云う点からも原案は考えられていると云うことからよく了解を求めたのであつた。ある委員は生糸検査格付法を全面的にかえて、織度偏差だけを充分に検査すれば糸条斑検査等不要であると主張したが、スミス議長は漸新な案ではあるが、長い歴史を持つ現在の検査法の態勢を一举にくつがえすことはよくないと反對し、筆者も又セリブレーン検査は検査としては基本的な問題で、之を廢止することは不賛成であると主張した。

これらの討議からみても織物業者は如何に織度偏差を重要視しているかがうかがわれる。

4 練 減 の 問 題

次に取上げられたのは練減率の問題である。本問題の頭初にペロア氏は統計図表を示して、年々練減率の増加をしていることを示した。スイスのある業者は練減が多くて莫大な損失をしたと強調した。何れにしても何故増加の傾向を示しているかについて、筆者は検査所における任意検査の統計は過去数年間特に増加の傾向を示してはいないと述べ、横山博士は品種育成上からの説明を行い、又製糸の立場からは終戦直後の安定しなかつた時に比べ、現在は方法も確立してきたからこれ以上増加するようなことはないであろうと述べ、結局消費者として常に安定していることが必要であることから、現在の二十一%乃至二十二%程度で安定させること、出来得ればその率は低いことを望むということで結論を得たのである。この際日本は決して故意に増率させたのではなく、又ある委員会の発言の如くライスパウダーをつけるようなことは一度も経験した事がないと説明を附け加えた。この問題についても将来彼等の要望に応えるために種々考慮することが必要であらう。

5. ラウジネスの問題

第三にはラウジネスの問題である。ラウジネスは日本の生糸全体に対しての強い要求ではないが、一般に支那産のものよりも悪いと評されこの方面の向上が更に要求された。もつとも日本における最近の進歩、研究の点については一応承知しておるようであり、日本側からはラウジネスのよい二品種の選定も行われた程で、将来も更に研究して要望に沿いたいと述べて討議を終つた。

6. 抱 合 検 査 機 に つ い て

抱合検査機については本年はからずも日伊両国で新抱合検査機の完成を發表し、数年来の研究中なる言葉を改めたことである。第一回目の技術調査委員会の席でイタリーのギャレーゼ氏から彼等の新検査機について説明がなされたが、機械そのものの展示もなく而もギャレーゼ博士の母堂の逝去により、二日目より帰国欠席されたため充分の討議も行われずにすんだ。日本側からは岡谷製糸試験所の岡村所長指導のもとに研究された糸条相互の摩擦による抱合度の検査機を、筆者が空路持参し最後の技術調査委員会と、第三部会との合同委員会でよく実演説明を加えた。スミス、ミューラー、ギヤダム、セメンザ、ワズワース、オツフアーマン、ピラ、ボドマーの各委員は熱心に見学種々質問応答を重ねたが、彼等の専門的知識を以て賞讃の声を惜しまなかつたことは発明者へのよいお土産であると考ええる。その後帰国の途次ミラノにより親しく、ギャレーゼ氏を訪ねたところ非常に喜んでくれて、イタリーの新検査機について詳細説明をしてくれた。筆者は両機の得失について之を論じ更に日伊両検査機の交換によつて互に研究して、次回の絹業会議迄にはある程度の結論を得たい旨申すとイタリー当局もよろこんで、之に応じてくれたのでやがて私達の前に両検査機による研究の発表も行われるであらう。かくしてこの問題も多年の懸案に對

して面目をほどこしたことになる。

7. その他の問題

技術調査委員会の中には更に科学小委員会というのがあつてこの会合では横山博士がエクスポリエーションの最近の研究として清水正徳氏のX線図的研究の発表を披露し、黄褐変の問題については筆者が過去における外国文献の紹介と最近の日本における研究動向を研究者と研究課題とその内容を示し、同席のシャノンパン氏及びメイベック氏等の興味をひいたようであつた。この外シャノンパン氏、メイベック氏の堅牢染の問題、光線による品質低下、絹鳴の問題等の研究発表があり何れも研究の発表にとどまつた。

8. 結 言

五月十三日の合同委員会の席上ではギヤダム氏議長となつて、生糸検査格付改正案を暫定的にそのまま採用することに満場一致で決議出来るだけ早い機会に実施することが要望された。又練減率を本検査として採用することについて討議されたのに対し検査所としては不賛成であることを主張し最後に本案を採用するか否かを研究する会を持つか否かについての申出があつたに対しては別に反対を示さずに終了した。

以上が筆者の関係した部会での内容のあらましである。

15/13 多糸新絲調査成績 {昭和29年 100件 6月14日～7月31日ランダム採取
昭和30年 100件 6月14日～7月30日ランダム採取}

1. 検査項目別分布状況

(1) 平均 織 度

範囲 デニール 年次	13.2	13.4	13.6	13.8	14.0	14.2	14.4	14.6	計	平均
29年	2	5	11	20	36	17	7	2	100	13.84
30年		11	30	23	27	6	3		100	13.69

(2) 織 度 偏 差

範囲 デニール 年次	0.60	0.65	0.70	0.75	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	計	平均
29年			2	1	8	7	11	18	16	20	10	6	1				100	0.95
30年	1			7	5	16	14	10	7	16	13	7	3			1	100	0.94

(3) 最 大 偏 差

範囲 デニール 次 年	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6
29年	1					2	6	4	6	7	12	11	8	6	7	8	4	10	2
30年			1		2		4	6	3	8	12	8	19	4	4	9	3	4	4

MEMO

3.7	3.8	3.9	4.0	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	計	平均
1	2	2				1				100	2.96
2	3	3							1	100	2.97

2. 格決定項目調査

昭和 29 年

格	項 目	計 主 要 項 目						織 偏 一 格 下	肉 眼	肉 眼・織 偏 一 格 下	計
		全 項 目	糸 平	糸 平 劣	糸 平 劣 中	糸 平 劣	大 中				
4 A		1								1	
3 A	1	2	3				1			7	
2 A		2	30	1	1					34	
A		2	26	1	12		1	1		43	
B		3	3		6				1	13	
C					2					2	
計	1	10	62	2	21	1	1	1	1	100	

昭和 30 年

格	項 目	主 要 項 目					織 偏 二 格 下	肉 眼	計
		糸	糸	糸	小 平 節	糸			
		平	平	劣	劣	劣			
3 A		1	5	1					7
2 A		3	37		1				41
A		8	17		8				33
B		1	6		6		1		14
C					4	1			5
計		13	65	1	19	1	1		100

22/20 多糸新糸調査成績 { 昭和29年 300件 6月14日～7月31日ランダム採取
昭和30年 300件 6月9日～7月30日ランダム採取

1. 検査項目別分布状況

(1) 平均 織 度

次 年	範 圍 デニール														計	平均
	19.6	19.8	20.0	20.2	20.4	20.6	20.8	21.0	21.2	21.4	21.6	21.8	22.0			
29年	2	4	15	27	52	72	75	32	12	4	3	1	1	300	20.52	
30年		9	17	27	44	58	68	44	20	9	3	1		300	20.55	

(2) 織 度 偏 差

次 年	範 囲 デニール														
	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60
29年	1	2	3	8	9	16	20	26	38	48	29	38	21	20	5
30年	1	3	2	5	9	15	16	26	39	34	34	29	30	24	14

MEMO

1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	計	平均
9	6	1				300	1.33
10	6		1	1	1	300	1.35

(3)最大偏差

年次	範 圍 デニール	3.0	3.3	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7.0	7.2	計	平均
29年		2	9	4	19	29	36	52	48	36	11	19	20	4	5	1	3	2						300	4.29
30年			1	6	17	21	25	33	41	37	34	27	18	9	14	9	1	3	2			1	1	300	4.53

2.格決定項目調査

昭和 29 年

項目 格	主 要 項 目										補 助 項 目						肉 眼 ・ 織 偏 一 格 下 眼	肉 眼 ・ 再 繰 二 格 下	計		
	全 項 目	糸 平	糸 劣	糸 劣中	糸 劣節	糸 平中	糸 劣節	糸 大 中	糸 小 節	織 偏 一 格 下	二 格 下	三 格 下	最 大 二 格 下	織 最 一 格 下	再 繰						
															一 格 下	二 格 下				三 格 下	
4 A		2	4				1													7	
3 A		9	19	2								1	2								33
2 A	1	16	96	5	1			1		1	1	5	1					2			130
A		14	26	1					8	1		22	1		1	1		6			82
B		2	2						6	2	2	5	11					4	2		36
C									1					1			1	2	1	2	8
D																		2	1	1	4
計	1	43	147	8	1	1	1	15	4	4	34	13	1	1	1	1	1	2	15	5	300

昭和 30 年

項目 格	主 要 項 目						補 助 項 目						肉 眼	肉 眼・ 織偏 一格下	計
	糸 平	糸 劣	糸 劣中	糸 劣節	糸 劣	大 中	織 偏			織 最		大 再繰 一格下			
							一 格下	二 格下	三 格下	一 格下	二 格下				
4 A	1	1													2
3 A	6	23													29
2 A	14	99	1	1	2		2				1				120
A	17	43			9	1	18	1					1	3	93

MEMO

B	4	5			7		10	9	1			1		1	1	39
C		1			3		6		2	1						13
D		1									1		1			3
G														1		1
計	42	173	1	1	21	1	36	10	3	1	1	1	2	1	5	300

20/
22普通新糸調査成績 {昭和29年 90件 6月15日～7月31日全部
昭和30年 90件 6月20日～7月30日全部

1. 検査項目別分布状況

(1) 平均 織 度

年次	範囲 デニール	19.6	19.8	20.0	20.2	20.4	20.6	20.8	21.0	21.2	21.4	21.6	21.8	22.0	22.2	22.4	計	平均
29年		1	8	7	6	8	17	22	10	6	4	1					90	20.50
30年		1	1	8	8	15	14	13	20	7	1			1	1		90	20.56

(2) 織 度 偏 差

年次	範囲 デニール	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85
29年			1	3	7	15	10	18	9	7	5	2	4	1	4	1
30年		3	3	4	8	8	9	15	12	11	7		3	3	3	

1.90	1.95	:	2.15	計	平均
1	1		1	90	1.46
	1			90	1.44

(3) 最 大 偏 差

年次	範囲 デニール	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7.0	7.2
29年		1	2	7	12	12	13	3	11	8	4	9	1		2		1			
30年			1	9	11	7	8	9	6	12	6	8	4	1	3	2	1	1		1

7.4	7.6	7.8	:	9.2	:	9.4	計	平均
1		1		1		1	90	4.88
							90	4.92

MEMO

2. 格 決 定 項 目 調 査

昭 和 29 年

格	項 目	主要項目				補 助 項 目									肉 眼	肉 眼		肉 眼		計
		糸 平	糸 平劣	糸 劣	織 一格下	偏 二格下	最 大			織・最		再 繰				織 一格下	偏 二格下	再 一格下	繰	
							一格下	二格下	三格下	一格下	二格下	一格下	二格下	三格下						
2	A		3																3	
	A	2	25	3	3						1				2				36	
	B	1	13	6	2							1		1					24	
	C		4	2									1	1	1		1		10	
	D		1	2	2	2				1				3					11	
	E				1			1	1		1								4	
	F															1			1	
	G												1						1	
	計	3	46	13	8	2		1	1		2	1	1	2	7	1	1	1	90	

昭 和 30 年

項 目 格	主 要 項 目			補 助 項 目				肉	肉・眼	肉・眼	計
	糸	糸	糸	織 偏		最大	織・最	眼	肉・眼	肉・眼	
	平	平劣	劣	一格下	二格下	二格下	最一格下	一格下	二格下	二格下	
3 A		1									1
2 A		8									8
A	5	23	1								29
B	5	6	7				1	1			20
C	2	9	4	4				3			22
D				2				2	1		6
E				1					1	1	3
F					1						1
計	12	47	12	7	1	1	1	5	2	1	90

MEMO

輸
出
生
系
新
格
付
表

項 目 \ 格		6 A	5 A	4 A	3 A	2 A
系 系 班 平 均		94 (95) 以上	93 (94)	91 (92)	89 (90)	86 (87)
系 系 班 劣 等		87 (87)	85 (86)	83 (83)	80 (81)	77 (77)
大 中 節	33 以下	96 (96)	95 (95)	94 (94)	93 (92)	92 (90)
	34 以上			94 (93)	92 (91)	90 (89)
小 節	33 以下	95 (95)	94 (94)	93 (92)	92 (90)	90 (88)
	34 以上			93 (92)	91 (90)	89 (88)
項 目 \ 階 級		(I)	(II)	(III)	(IV)	(V)
纖 度	12 以下	0.90 (0.94)	0.95 (1.01)	1.00 (1.07)	1.10 (1.20)	1.20 (1.32)
	13 - 15	0.95 (1.01)	1.00 (1.07)	1.10 (1.13)	1.20 (1.26)	1.30 (1.39)
	16 - 18	1.10 (1.13)	1.20 (1.26)	1.30 (1.39)	1.40 (1.51)	1.55 (1.64)
	19 - 22	1.30 (1.33)	1.40 (1.46)	1.50 (1.58)	1.60 (1.71)	1.75 (1.84)
	23 - 27	1.50 (1.58)	1.60 (1.71)	1.75 (1.84)	1.90 (1.96)	2.05 (2.15)
偏 差	28 - 33	1.75 (1.84)	1.90 (1.96)	2.05 (2.15)	2.25 (2.34)	2.45 (2.54)
纖 度	12 以下	2.6 (3.0)	2.7 (3.2)	2.9 (3.4)	3.1 (3.8)	3.4 (4.2)
	13 - 15	2.7 (3.2)	2.9 (3.4)	3.1 (3.6)	3.4 (4.0)	3.7 (4.4)
	16 - 18	3.1 (3.6)	3.4 (4.0)	3.7 (4.4)	4.0 (4.8)	4.4 (5.2)
	19 - 22	3.7 (4.2)	4.0 (4.6)	4.3 (5.0)	4.6 (5.4)	5.0 (5.8)
	23 - 27	4.3 (5.0)	4.6 (5.4)	5.0 (5.8)	5.5 (6.2)	6.0 (6.8)
偏 差	28 - 33	5.0 (5.8)	5.5 (6.2)	6.0 (6.8)	6.5 (7.4)	7.1 (8.0)
項 目 \ 格				4 A	3 A	2 A
纖 度	34 - 49			3.10 以下	3.50	3.90
	50 - 69			4.10	4.60	5.20
	70 - 99			5.10	5.70	6.30
	100 - 199			7.60	8.50	9.50
	200 以上			12.30	13.90	15.50
纖 度	34 - 49			9.0 (9.0)	10.0 (10.0)	11.0 (11.0)
	50 - 69			12.0 (12.0)	14.0 (14.0)	16.0 (16.0)
	70 - 99			15.0 (15.0)	17.0 (17.0)	19.0 (19.0)
	100 - 199			23.0 (23.0)	26.0 (26.0)	29.0 (29.0)
	200 以上			37.0 (38.0)	42.0 (42.0)	47.0 (47.0)
項 目 \ 階 級		(I)			(II)	
再 繰	12 以下	15 (20) 以下			20 (25)	
	13 - 17	12 (15)			17 (21)	
	18 - 33	9 (12)			12 (17)	
	34 - 69	5 (5)			7 (7)	
	70 - 99	3 (3)			5 (5)	
	100 以上	2 (2)			4 (4)	
項 目 \ 階 級		(I)				
強 力		3.7 (3.6) 以上				
伸 度	17 以下	19 (19)				
	18 以上	20 (20)				
抱 合	13 - 17	40 (40)				
	18 - 33	60 (60)				
項 目 \ 階 級						
抱 合 12 以下						

2. 繰度偏差欄の数値は標準偏差で括弧内は現行の繰度偏差限度を標準偏差に換算
註 1 括弧内は現行格付限度を示す

A	B	C	D	E	F	G
84(85)	82(83)	80(81)	77(78)	73(73)	67(67)	67(67)未満
75(75)	73(73)	70(70)	66(66)	60(60)	54(54)	54(54)
90(88) 87(86)	88(86) 83(83)	85(83) 79(79)	81(80) 75(75)	76(76) 70(70)	70(70) 64(64)	70(70) 64(64)
88(87) 87(86)	86(85) 84(83)	84(83) 81(80)	82(81) 78(77)	78(77) 74(74)	73(73) 70(70)	73(73) 70(70)
(VI)	(VII)	(VIII)	(IX)			
1.30 (1.45)	1.45 (1.58)	1.60 (1.70)	1.60 (1.70)超過			
1.45 (1.51)	1.60 (1.64)	1.80 (1.77)	1.80 (1.77)			
1.70 (1.77)	1.85 (1.89)	2.05 (2.02)	2.05 (2.02)			
1.90 (1.96)	2.10 (2.15)	2.40 (2.41)	2.40 (2.41)			
2.25 (2.34)	2.45 (2.54)	2.70 (2.77)	2.70 (2.77)			
2.65 (2.79)	2.90 (3.04)	3.20 (3.30)	3.20 (3.30)			
37 (46)	42 (50)	47 (54)	47 (54)			
42 (48)	47 (52)	52 (56)	52 (56)			
49 (56)	54 (60)	60 (64)	60 (64)			
55 (62)	61 (68)	67 (76)	67 (76)			
65 (74)	71 (80)	78 (88)	78 (88)			
77 (88)	84 (96)	92 (104)	92 (104)			
A	B	C	D	E	F	G
4.40	5.00	5.90	7.00	8.30	9.90	9.90超過
5.80	6.70	7.90	9.30	11.00	13.10	13.10
7.10	8.20	9.70	11.40	13.50	16.00	16.00
10.80	12.30	14.50	17.10	20.20	24.00	24.00
17.50	20.00	23.60	27.80	32.90	39.10	39.10
13.0 (130)	15.0 (150)	18.0 (180)	21.0 (210)	25.0 (250)	30.0 (300)	30.0 (300)
18.0 (180)	21.0 (210)	24.0 (240)	28.0 (280)	33.0 (340)	39.0 (400)	39.0 (400)
22.0 (220)	25.0 (250)	29.0 (300)	34.0 (350)	41.0 (410)	48.0 (490)	48.0 (490)
32.0 (330)	37.0 (380)	44.0 (440)	52.0 (520)	61.0 (620)	72.0 (740)	72.0 (740)
53.0 (540)	60.0 (620)	71.0 (720)	83.0 (850)	99.0 (1010)	117.0 (1200)	117.0 (1200)
(III)	(IV)	(V)	(VI)	G		
25 (30)	35 (40)	55 (60)	55 (60)	80 (80)超過		
23 (27)	32 (35)	45 (50)	45 (50)	70 (70)		
17 (23)	23 (30)	35 (40)	35 (40)	60 (60)		
10 (10)	15 (15)	20 (20)	20 (20)	30 (30)		
7 (7)	10 (10)	15 (15)	15 (15)	20 (20)		
6 (6)	8 (8)	10 (10)	10 (10)	15 (15)		
(II)	III	IV				
3.6 (3.5)	3.5 (3.4)	3.5 (3.4)未満				
18 (18) (19)	17 (17) (18)	17 (17) (18)				
35 (35)	30 (30)	30 (30)				
50 (50)	40 (40)	40 (40)				
(I)	II					
30 (30) 以上	30 (30) 未満					

2 繰度偏差欄の数値は標準偏差で括弧内は現行の繰度偏差限度を標準偏差に換算した値である。

註 1 括弧内は現行格付限度を示す

現行格付と新方法による格付との関係

(20/22)																—			
新 方 法 現 行	6A	5A	4A	3A	2A	A	B	C	D	E	F	計	平均格	格下	大中	小節	標偏		
6A	2											2	6A						
5A	6	8	3									17	5A・17	3			2		
4A		11	38	33	1							83	3A・71	34		3	26		
3A			11	78	53	2						144	2A・68	55	7	7	33		
2A				15	125	62	1					203	A・75	63	10	4	37		
A					18	132	51	4				205	B・50	55	6	2	32		
B						21	86	34	2			143	C・88	36	5	2	20		
C							6	72	26	2		106	D・77	28	5	7	9		
D								3	48	13		64	E・84	13	1	3	5		
E									3	16	5	24	F・91	5		1			
F											9	9	F						
計	8	19	52	126	197	217	144	113	79	31	14	7000	B・92	292	34	29	164		
平均格	5A・25	4A・42	3A・84	2A・14	A・18	B・20	C・32	D・34	E・54	F・35	A・13								
格上	6	11	11	15	18	21	6	3	3			94		(13/15)					
糸平	6	9	7	8	18	20	6	3	2			79							
糸劣				1								1							
平劣		2		6								8							
織偏						1			1			2							
伸度			4									4							

資料

13/15・20/22 共 昭和26年7月～29年6月

横浜 700件

計 1000件

神戸 300件

新 方 法 現 行	
6A	
5A	
4A	
3A	
2A	
A	
B	
C	
D	
計	
平均格	
格上	
糸平	
糸劣	
平劣	
織編	

(20/22)

項 目 別 格 別	主 要 項 目															
	全 目	糸 平	糸 劣	大 中	小 節	平・ 劣	平・ 大	平・ 小	劣・ 大	劣・ 小	大・ 小	平劣・ 大	平劣・ 小	平・大・ 小	劣・大・ 小	小 計
6 A	2															2
5 A		9			3	2		2								16
4 A		20			3	49		1				1	6			80
3 A		32	3	3		70	5					6	5	1	1	126
2 A		29	1	2		147						8	5			192
A		49	15	2	1	93	1		2	1		1	1			166
B		23	19	5	3	39							1			90
C		4	15	7	4	27			3		2		2			64
D		6	4	1	7	27	1	1				1				48
E		4	1	2	1	9										17
F				3												3
計	2	176	58	25	22	463	7	4	5	1	2	17	20	1	1	804

(13/15)

項目別 格別	主 要 項 目												
	全項目	糸平	糸劣	大中	小節	平・劣	平・大	平・小	劣・大	平劣大	平劣小	平・大・小	小計
6 A	6												6
5 A		70				3	1	3					17
4 A		8	1			67		1		1	4		82
3 A		48	6			93				2			149
2 A		49	12			230	1	2		3	5		302
A	1	51	22			132	2			2			210
B	1	29	22		3	62			1		1	1	120
C		71	20		2	31							64
D		5	1	1	1	2							10
計	8	271	84	1	6	620	4	6	1	8	10	1	960

補助項目														合計
織 偏			最 大			両 繰		伸 度	織	最	繰 両	繰 伸	小 計	
一 格 下	二 格 下	三 格 下	一 格 下	二 格 下	三 格 下	一 格 下	二 格 下	二 格 下	二 格 下	二 格 下	二 格 下	二 格 下	二 格 下	
														2
						1							1	77
	1											2	3	83
6	1					1		7			1	2	18	144
9	1						1						11	203
33	3								1	2			39	205
30	27		2										53	143
24	8	9			1								42	106
8	5		1						2				16	64
2	1	1							2		1		7	24
1	2		1				2						6	9
113	43	10	4		1	2	3	7	5	2	2	4	196	1000

補 助 項 目					合 計	
織		偏	最大格下	伸度格下		小計
一格下	二格下					
					6	
1				1	18	
1				1	83	
6				2	157	
7				7	309	
11	1		2	14	224	
3	1			4	124	
4				4	68	
1				1	11	
34	2		2	2	40	1000

新方法による格決定項目調査

(20/22)

項目 格別	主 要 項 目														小計
	全項目	米平	米劣	大中	小節	平・劣	平・大	平・小	劣・大	劣・小	大・小	平劣大	平劣小		
6 A	8														8
5 A		2	2		5	8		1							18
4 A	1	8	2		3	20		2				2	2		40
3 A		9	17	3	5	42	1		2	1			5		85
2 A	3	24	10	9	10	63	1	1	2	1		5	13		142
A	2	6	44	11	5	40	1		7	1		7	6		130
B		2	37	6	4	5			2	1					57
C		1	25	8	3	7			3			1			48
D		2	10	6	12	15			1				1		47
E			3	3	3	5		1							15
F				2	1						1				4
計	14	54	150	48	51	205	3	5	17	4	1	15	27		594

(13/15)

項目 格別	主 要 項 目														小計
	全項目	米平	米劣	大中	小節	平・劣	平・大	平・小	劣・大	劣・小	大・小	平劣大	平劣小		
6 A	9														9
5 A	1		3	1	3	7						2			17
4 A		5	3		1	56	1	2					6		74
3 A		9	37		1	103				1		1	2		154
2 A	4	38	14	1	2	163		1				1	6	9	239
A		6	86	4	8	77			1	3		6	1		192
B		3	56	4	2	29			1		1				96
C			42	3	3	10			1	1	1				61
D		1	2	1	3	1									8
計	14	62	243	14	23	446	1	3	3	5	2	1	15	18	850

6月21日 397%

補 助 項 目																			合 計	
標 偏				最 大				再 繰			標 最				標・再		最・再			小 計
一 格 下	二 格 下	三 格 下	四 格 下	一 格 下	二 格 下	三 格 下	四 格 下	一 格 下	二 格 下	三 格 下	一 格 下	二 格 下	三 格 下	四 格 下	一 格 下	二 格 下	一 格 下	二 格 下		
																			8	
											1								19	
7	2				1				1								1		52	
25	10							1	1		3		1						126	
31	11	2	1	4				1	1		4								197	
57	13	1		1	3			2		1	3	6							277	
40	23	7		3	2						5	5	2						144	
26	13	10	1		1		2		1		6	2	1	1	1				113	
15	8	1		1	1		1	3				2							79	
9	1				3						2	1							31	
	3				1				3		1	1						1	14	
210	84	21	2	9	12		3	7	7	1	25	17	4	1	1		1	1	1000	

補 助 項 目											合 計
標 偏		最 大			再繰 一格下	強力 一格下	伸度 一格下	標 最		小 計	
一 格 下	二 格 下	一 格 下	二 格 下	三 格 下				一 格 下	二 格 下		
											9
3										3	20
13	3	2								18	92
14	2	1			2		3		2	24	178
26	3		1	1		1		5	1	38	277
26	4	1			4			5		40	232
6	2	1	1	1		1		1	1	14	110
4	1	1				1		2		9	70
2	1		1							4	12
94	16	6	3	2	6	3	3	13	4	150	1000